



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE  
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH  
(JADR)

## 国際歯科研究学会日本部会 会 報

1986 - II

7月

### 1986年第2回理事会

日 時：5月1日(木) 10:00 am

場 所：東京医科歯科大学歯学部会議室

出席者：三浦会長、大橋副会長、須賀前会長、小沢、吉田、木下、清水各理事、常光事務局長

### I. IADR韓国部会の新会長について

本年5月2日よりM.K. Kim会長の後任に生理学のJ.H. Lee教授(ソウル大学)が就任される予定である。

### II. 第34回JADR東京大会について

本年のJADR大会は三浦不二夫会長の下で、12月4日(木)と5日(金)の二日間、東京医科歯科大学で開催される。本学会にはIADR副会長R.C. Page教授(ワシントン大学)の記念講演が予定されている。

### III. 第64回IADR理事会への日本側出席者の変更について

常光事務局長の一身上の都合により、大橋副会長が事務局長の代わりに、また真泉日本歯科医学会会長がオブザーバーとして出席されることを承認した。

#### IV. 次期事務局長候補者の投票について

理事会推薦の候補者を佐々木哲教授(東京医科歯科大学)とし、従来どおりの方法で全会員にご投票をお願いすることとした。締切日は6月末日(当日消印有効)。

#### V. IADRの歯科材料研究グループ日本支部の設立について

標記の日本支部設立を承認し、このグループの secretary に大橋副会長が就任されることを了承した。

#### VI. 会員名簿の作成について

本年は4年毎に発行される会員名簿の作成の年であり、事務局で作業を始めることになった。

#### VII. JADR主催の記念講演会の開催について

5月1日(木)午後4時より6時まで、東京医科歯科大学1号館特別講堂において、ハーバード大学歯学部長P. Goldhaber先生の“Bone in Tissue Culture”と題して、またボストン市小児矯正専門医M. Horiuchi先生の“アメリカにおける小児歯科と矯正”と題して有意義な講演があり、無事終了した。

### 1986年第3回理事会

日 時：7月14日(月) 2:00 pm

場 所：東京医科歯科大学歯学部会議室

出席者：三浦会長、大橋副会長、須賀前会長、小沢、木下、清水各理事、常光事務局長

#### I. 次期事務局長の選挙結果について

会員各位よりの投票の結果、圧倒的多数で次期事務局長に東京医科歯科大学歯学部の佐々木哲教授が選出された旨、事務局長より報告された。なお投票率は65%であった。

#### II. 第64回IADRハーグ大会の理事会について

6月20日と21日の二日間アムステルダムのクレストホテルで理事会が開催され、JADRより三浦会長、大橋副会長とオブザーバーとして真泉日本歯科医学会会長が出席した。理事会の討議内容と1985年の会計決算書、1986年の予算案の詳細は後日発行されるIADR ReportsならびにJ. Dent. Res.に掲載される筈なので、主な要点のみを記載するにとどめる。

① Southeast Asian Divisionを暫定的に承認し、二年後に状況をみてfull Divisionにする予定である。このDivisionの設立にはホンコン大学のH.Y. Wei 教授（小児矯正学）が中心になって推進しており、ホンコン、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピン、台湾が含まれている。将来は中国をも含める予定である。

② J. Dent. Res.へ原稿を提出してから印刷されるまでの期間は

原稿の reject	2.1±1.8(標準偏差)	カ月
accept	5.5±3.4	カ月
publish	3.0±1.1	カ月

となっており、原稿を提出してから印刷されるまでの月数は平均して約10.6カ月かかっているとのことである。

③ 1985年の会計決算（収入\$ 161,234、支出\$ 138,340、繰越し\$ 22,894）が承認され、更に1986年の予算案（1985年とほぼ同額）が了承された。

④ ハーグ大会では総数1166題の研究発表があったが、日本の研究機関よりの発表が92題、日本人で海外の研究機関に留学し、そこでの外国人との共同研究者としての発表が46題、日本と海外の研究機関との共同発表が9題で、年ごとに日本人の発表数が増加していることは喜ばしいことである。

### Ⅲ. 第34回JADR東京大会について

東京医科歯科大学で開催される本年のJADR大会の演題申込み締切日は8月30日(土)で、英文アブストラクトの提出期限は9月20日(土)までである。学会運営等の詳細は後日、全会員に案内される筈である。

### Ⅳ. JADRに発表された研究論文の日本語抄録の歯科ジャーナルへの掲載中止について

JADRに発表された研究の日本語抄録は長年にわたり歯科ジャーナルに無料で掲載されてきたが、出版社より来年4月以降は財政上の理由から掲載を中止したい旨の申し出があり、理事会で種々検討した結果、止むを得ないとの結論に達し、第34回JADR東京大会より日本語の抄録を提出しなくてよいことになった。

## V. 討 報

本学会名誉会員大西正男先生(東京医科歯科大学名誉教授)は去る6月19日逝去され、葬儀ならびに教室葬が6月23日太宗寺でしめやかに執り行われた。茲に謹んで哀悼の意を表します。

### [事務局よりのお願い]

本年度会費(3,000円)の納入状況は7月1日現在、納入率は65%であり、未納入者が多いので事務局は大変困っております。本学会が円滑に運営されますように会費納入にご協力下さい。近日中に未納入の先生方に催促状を発送する予定です。

(文責：事務局長 常光 旭)

---

THE JAPANESE ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH

国際歯科研究学会日本部会事務局

〒565 大阪府吹田市山田丘1-8

大阪大学歯学部予防歯科学講座内

電話 (06) 876-5711 内線2281